

かりば地区(狩場台・糶台)のすまいづくりを考えませんか！

「かりば すまいづくりを考える会」参加者募集のご案内

主催：いきいき下町推進協議会

[事務局：兵庫県建築士会]

共催：NPO法人コミュニティかりば

協力：一般財団法人神戸すまいまちづくり公社

西区役所、西神ニュータウン研究会

2018年度実施した「景観まちづくり推進員養成講座」では、かりば地区(狩場台・糶台)を舞台にニュータウンの魅力と課題を探ってきました。その講座で得られた成果として、単に従来の門と塀に囲まれた美しい住宅地景観をめざすだけでなく、人口減少と高齢化、空き家問題、さらには敷地分割住宅の増加などこれからのニュータウンが直面する課題にどう取り組むかが問題であり、景観はそのすまい方の目に見える証しであることがわかってきました。(裏面の主な成果の概要を参照)

そこで、その講座の提案のさらなる具体化を進めるため、かりば地区の多くの住民の方々の参加を得て「すまいづくりを考える会」を立ち上げ、将来のかりば地区のすまいづくりに向けた実践の方途を考えたいと思います。ぜひこの会にご参加ください。

1. プログラムの概要

ワークショップによって、これからのかりば地区、さらにはニュータウンの住宅地像を描きます。また、できれば、かりば地区のどこか具体的な敷地(空き家)のリノベーション案をもとに、専門家も加わって外構などのガイドラインの方針を検討します。

2. 期間と回数 2019年10月26日～2020年2月 延べ4回を予定(裏面プログラム参照)。

3. フィールドと会場 かりば地区・かりばプラザ集会所(予定)

4. 参加できる人

かりば地区(狩場台、糶台)にお住まいの方々と、ニュータウンのすまい・まちづくりに関心をお持ちの方ならだれでも参加できます。

5. 参加費 無料

6. 募集人員 30名程度(応募多数の場合、抽選で決定し、結果は10月初旬に通知する予定。)

7. 申込期間 2019年9月9日(月)～10月9日(水)

8. 申込方法 下記の参加申込書に必要事項を記載して、切り離さずそのまま「公益社団法人兵庫県建築士会事務局」あてにファックスでお送りください。

「かりば すまいづくりを考える会」参加申込書

| 氏名 | フリガナ | 生年月日 | 年 | 月 | 日 | ※受付番号 |
|-------|----------------------------|------|---|---|---|-------|
| | | | | | | |
| 住所 | 〒 - Mail: | | | | | |
| | TEL: - - FAX: - - | | | | | |
| 所属団体等 | 【該当するものに○をつけ、()内にご記入ください】 | | | | | |
| | ・かりば地区で所属する地域団体 () | | | | | |
| | ・その他所属する団体 () | | | | | |
| | ・大学生、大学院生 (大学・専攻名:) | | | | | |

(注)※欄は事務局記入欄ですので、ご記入の必要はありません。

結果通知についてはFAXでお送りする予定です。自宅・勤務先いずれかご希望のFAX番号をご記入ください。

FAX送信先：公益社団法人兵庫県建築士会事務局内 景観まちづくり推進員養成講座担当

FAX：078-327-0887 (TEL：078-327-0885)

■「かりば すまいづくりを考える会」ワークショッププログラム

- ・会場：かりばプラザ集会所
- ・フィールド：かりば地区

| | 月日 | 時間 | テーマ | 検討の内容 |
|---|--------------|-----------------|---------------------------|---|
| 1 | 10/26 (土) | 14:00～ 17:00 | ワークショップ[I] 住宅地像を構想する | ①第8期実践講座・交流会のおさらい, 考える会プログラムの進め方 |
| | | | | ②新たなかりば地区の住宅地像, これからのすまい方を考える |
| 2 | 11/24 (日) | 14:00～ 17:00 | ワークショップ[II] 外構に注目する | ③現場視察・写真撮影(かりば地区) これからのすまい方に合致した外構 |
| | | | | ④かりば外構ベスト10を選ぶ これからのすまい方に合致した外構 |
| 3 | 01/25 (土) | 14:00～ 17:00 | ワークショップ[IV] ガイドラインを考える | ⑤ガイドラインの内容検討 ・ガイドラインの性格など, ・敷地分割・バリアフリー・空き家活用など |
| 4 | 02/15 (土) | 14:00～ 17:00 | ワークショップ[V] すまいづくり大交流会 | ⑥成果発表 |
| | | | | ⑦シンポジウム(成果をまとめて提案) |

*やむを得ない場合、内容、時間に変更する場合があります。

●2018年度実施した「景観まちづくり推進員養成講座」で得られた主な成果の概要

1. 景観を構成する住宅地外構では、そこに住んでいる住人の年齢や趣味などにより重厚な塀・門構えの住戸、道路から門扉、外壁が後退し植栽をほどこしている住戸、さらには門も塀もない「オープン外構」の住戸など、さまざまであることが分かりました。
2. とくに近年では、塀や門などのない「オープン外構」の住戸が増えてきていること、それは、ややもすると駐車場だけの無味乾燥な街並みになる場合もあるが、工夫によっては街路から見た景観は空間の広がりを感じられることなども分かりました。
3. また、「オープン外構」は、若い世代の住戸・三世代同居住戸・敷地分割住戸などに多く、マイカーの駐車スペースの確保や子どもの遊び場などに利用されていますが、自宅で訪問介護・訪問看護を受ける場合や救急車などで搬送を受ける場合の容易さ、防犯上においても住宅地内を見通せる方がいいことや防災上も消火や救出救助など向こう三軒両隣で対応しやすいこと、さらには程よい距離感を近隣のコミュニティづくりなどに役立つことなども分かってきました。